

乗務系の相互運用について団体交渉を行う！ No.1

JR東労組高崎地本は、「2021年3月ダイヤ改正」について説明を受めました。その中で、乗務主務、乗務主任、乗務指導係、乗務係について、必要な教育を行った上で、順次、担当業務間の相互運用を行うとの説明を受けました。

注目!

高崎地本は、会社のトッププライオリティ(最優先)としての安全が担保され、働きがいの向上につながることならば、柔軟な社員運用については理解することができます。しかし、今提案は不透明な部分が多く、2月19日に申1号を申し入れ、3月11日に団体交渉を行いました。

1. 乗務員の担当業務の相互運用について、目的を明らかにすること。また実施した場合の効果をはっきりとすること。

担当業務間の相互運用を行うことによって、安全とサービス向上に資すると考えている。

2. 乗務職の担当業務間の相互運用を開始する場合は、前広に関係社員に対する丁寧な説明をすること。必要な周知等については実施していく考えである。

□主な議論

組合 相互運用の目的は何か

注目!

- ・当社として輸送業務に関して安全を高め、輸送サービスの全体の品質の向上に努める。
- ・コロナ禍だが 10年見据えて変革 2027 掲げて将来に向けて新たな輸送サービス品質価値の向上をめざしていかなければ厳しい経営環境に立ち行かなくなってしまうから、様々な施策を示しているところ。
- ・輸送サービスの観点からも柔軟な、かつ安全確保の上で行っていくことが必要と考えている
- ・今年度初に運用が可能になり、改めてダイヤ改正のタイミングで入れた。
- ・運転士と車掌の両方をすることで、お互いの勘所というところで安全やサービスなど、お客様に対する気づきというものの感度が増す。

組合 働きがいは向上するのか

- ・両方の担務に従事できるということでモチベーションは高まる。
- ・多様な経験をした社員が力を発揮できる場がまさに広がる。
- ・参画と成長で、モチベーションを高めてく。
- ・異常時、移動中のお尋ねにも的確に広い見地から答えられる

組合 経験のない線区でも相互運用はあるのか。

注目!

- ・仮に広い範囲で行うということになれば、必要な教育はこれまで通りに行っていく。

組合 駅から運転士になられた方もいるがその方も対象になるのか

- ・全く可能性がゼロとは言えない。

注目!

- ・安全性が損なうことがあってはいけなないので、そこは慎重に考えていくことになる。

